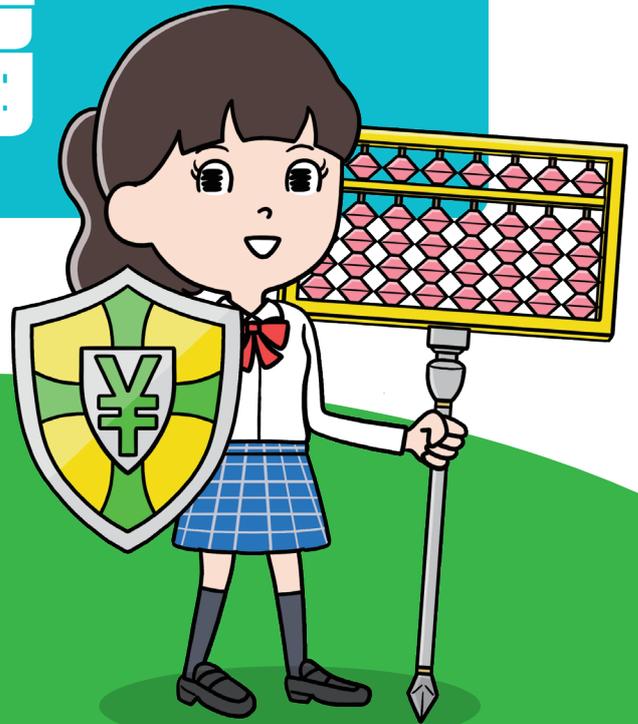
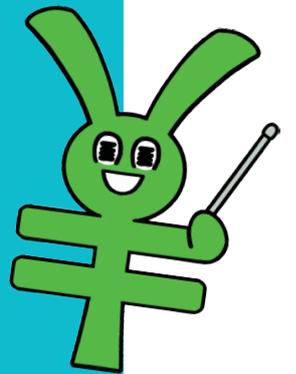


お金の知識をレベルアップ!

未来  レッスン

ライフ プラン

編





将来の夢を実現するために

ライフプランを考えよう!

自分の未来を
のぞいてみよう!



自分が大人になって、どんな人生を歩みたいのか。夢は人それぞれですが、
実現していくために今から将来の計画を考えていくことが大切です。

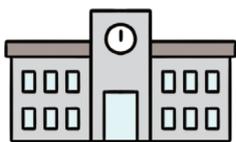


ワーク①

将来、自分がやってみたいことに をつけ、実現したい年齢を記入してみましょう!



進学



歳



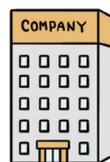
海外留学



歳



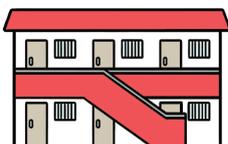
就職



歳



ひとり暮らし



歳



旅行



歳



マイカー購入



歳



結婚



歳



出産



歳



住宅購入



歳



将来について
あまり考えたことがなかったけど
まずは**5年後の自分**を
想像してみようかな

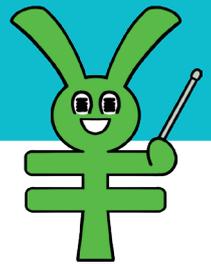
海外留学にも興味があるし
結婚もしたいな!
実現したい順番を考える
のって大事だね





将来の夢を実現するために ライフプランを考えよう!

夢を具体的な
計画にしていこう!



● ライフプランは人生の設計図

ライフプランは人生の設計図のようなものです。進学や就業、結婚、住宅購入などのライフイベントについて、何をいつ実現したいかを考えて計画を立てます。

そうすることで、未来に向けて今からどんな準備が必要かが見えてきます。ただし、ライフイベントの数や内容は人それぞれです。自分がどんな人生を送りたいかを意識して考えましょう。

結婚

マイカー
購入



海外
留学

ひとり
暮らし

子育て

就職



ワーク②

10年分のライフイベントをまとめてみましょう!

年齢	ライフイベント	必要な金額	年齢	ライフイベント	必要な金額
歳		万円	歳		万円
歳		万円	歳		万円
歳		万円	歳		万円
歳		万円	歳		万円
歳		万円	歳		万円

● ライフイベントにはお金がかかる

ライフプランがイメージできたら、次に実現するための準備について考えていきましょう。ライフイベントを実行するにはお金がかかります。人生の中でいつ、何にお金が必要かを整理することが大切です。

p3のライフイベントの費用例を参考に、記入したライフイベントにかかるお金を計算してみましょう。

たくさんのお金を準備するには時間がかかるため、このようにライフプランを立てることで、ライフイベントの優先順位やそれを実現する時期について考えていきます。



どれくらいのお金がいつ
必要になるかを把握しよう!

だんだんはつきり見えてきた!



+TRY

自分のライフプランについて
保護者の方とも話してみよう



Key Point

キーポイント

- 実現したい未来を想像して、ライフプランを考えよう
- いつどんなライフイベントを実現したいかを整理しよう

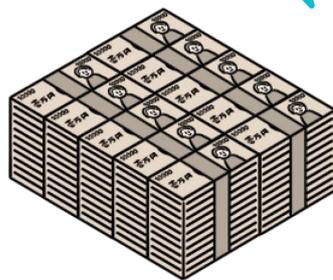


ライフイベントに必要な 資金と準備方法とは？

あなたの夢は
ハウマッチ？



一生涯で
2億円以上!?



● お金がかかる人生の3大資金

ライフイベントは人それぞれですが、結婚、子育て、住宅購入、そして老後を含めた生活全般にかかる費用の総額は2億円を超えともいわれています。その中でも教育資金、住宅資金、老後資金は、多くのお金がかかることから「人生の3大資金」と呼ばれています。

これらの資金には、毎月の収入の中から使う金額も含まれているので、すべて事前に準備する必要はありませんが、いつまでに、どれくらいのお金が必要なのか資金計画を立てて、早めに準備を始めることが大切です。

ライフイベントの費用例



教育資金

幼稚園から大学4年間までにかかる学費

すべて公立 約**808万円***1

小学校を除いて大学まですべて私立
約**1,613万円***1



住宅資金

家を買ったり、借りたりするのに必要な費用

建売住宅 約**3,605万円***2

賃貸(一戸建て・アパート等の1か月の家賃)
平均**6万円***3



老後資金

老後の生活において年金で不足する分を補うための費用

1か月の生活費
(65歳以上の夫婦のみの無職世帯)

約**22万円***4

海外留学(語学留学・年間)

約**360万円***5

ひとり暮らし(1か月あたり)

約**15.5万円***6

旅行(1人)

約**3.4万円***7

がんばって
お金を準備
するぞー!



マイカー購入

約**181万円***8

結婚

約**303.8万円***9

出産

約**50.6万円***10

*1文部科学省「平成30年度 子供の学習費調査」、日本学生支援機構「平成30年度 学生生活調査結果」をもとにゆうちょ銀行作成 *2住宅金融支援機構「2021年度 フラット35利用者調査」 *3総務省統計局「平成30年 住宅・土地統計調査 住宅及び世帯に関する基本集計」 *4総務省統計局「家計調査年報(家計収支編)2021年(令和3年)家計の概要」 *5一般社団法人 日本ワーキング・ホリデー協会「語学留学の費用について」 *6総務省統計局「家計調査報告(家計収支編)2021年平均結果の概要」 *7国土交通省観光庁「旅行・観光消費動向調査 2021年年間値(確報)」 *8ソニー損害保険株式会社「2021年新成人のカーライフ意識調査」 *9(株)リクルート「ゼクシィ結婚トレンド調査2022」 *10挙式、披露宴・ウエディングパーティ総額の平均 *10公益社団法人 国民健康保険中央会「正常分娩分の平均的な出産費用について(平成28年度)」 *10出産育児一時金は含みません。



ライフイベントに必要な 資金と準備方法とは？

● 資金準備の主な方法は3つ

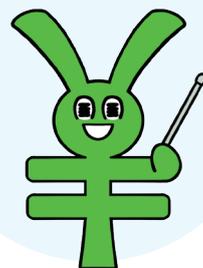
ライフイベントの資金を準備するための基本は「貯蓄」です。入ったお金をすべて使うのではなく、毎月決まった金額を計画的に積み立てていく貯蓄習慣をまず身につけましょう。

しかし、ライフイベントの資金を貯蓄だけで準備するのは大変です。「資産運用」についても考えてみましょう。お金を効率的に増やすことができれば、余裕を持ってライフイベントを迎えられます。また、お金が貯まるまでには長い時間がかかるため、「ローン(借入れ)」を活用することで、実現しやすくなるライフイベントもあります。

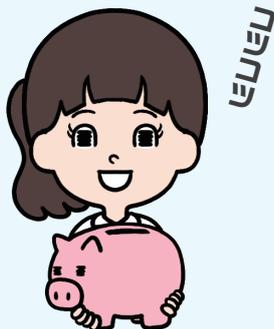
今から貯蓄して
30年後に家を買うぞ！



もっと早く手に入れる
方法もあるよ



着実に貯める 貯蓄



毎月の収入から支出を引いて、残った分を貯蓄しようとしても、なかなか思いどおりにいかないものです。計画的にお金を貯めるには、収入から貯蓄分を先取りし、残ったお金でやりくりするのがポイントです。

銀行などの金融機関には、給与が振込まれる口座から自動的に毎月積み立てができる商品もあるので確認してみましょう。

お金に働いてもらう 資産運用



資産運用とは、自分が持っているお金にも働いてもらイメージです。なかでも「投資」は、将来が有望な企業やものに資金を投じることで利益を得ることを目指します。

運用状況によって、投じた資金(元金)が減ってしまう可能性もあります。しかし、長期的に運用することで、運用結果の振れ幅(リスク)を安定させる効果が期待できます。

未来の収入を先取り ローン(借入れ)



ローン(借入れ)とは、手持ちのお金だけでは支払えない高額なものを購入する場合に、不足分を金融機関などから借りる方法です。借りたお金は将来に返済する必要があるため、借入れは将来の収入を先取りする方法ともいえます。

しかし、手元にお金がなければ何でも借りれば良いというわけではありません。目的と返済計画をしっかりと立てて、借入れすることが大切です。



Key Point

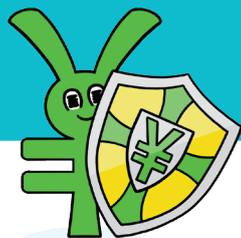
キーポイント

- ライフイベントにかかる必要資金を確認しよう
- 資金を準備する方法について覚えておこう



いつ、何が起こるかわからない 人生のリスクに備えよう!

備えあれば
うれいなし!



● リスクに備えるための保障

誰もがトラブルなく人生を送りたいと願いますが、その願いに反して、アクシデント(リスク)が起こることもあります。たとえば病気にかかって入院したり、大きなケガを負って、しばらく働けなくなったりすることなども、身近で起こるアクシデントといえます。

人生に起こり得るリスクを賄う資金は高額になるケースも多く、公的保障だけでは賄いきれないことも考えられますので、私的保障も準備できればより安心です。

公的保障

- 国や地方自治体が提供してくれる保障のこと
- 健康保険や公的年金、雇用保険などが代表的な存在

私的保障

- 自分でお金を払って、用意する保障のこと
- 生命保険や損害保険に加入するのが代表的な方法



主なリスクと公的保障の例

病気・ケガ



治療費がかかる...

治療が必要なときは、健康保険が適用されて3割などの一部負担で治療が受けられます。また手術を受けたり、ケガをして入院したりした場合は、3割より負担が軽減されるのが一般的です。

失業

収入がなくなる...



勤めている会社が倒産したり、病気やケガが原因で勤務を続けられなくなって仕事を辞めたりした場合は、雇用保険から失業手当(雇用保険の基本手当)が一定期間、受け取れます。

災害



家を直すお金がかかる...

大地震に見舞われたり、豪雨で家が流されたり、床上浸水をしてしまったり、大規模な災害に見舞われた場合は、被害の程度に応じて国や自治体から補償金などが受け取れる場合があります。

老後の資金不足



老後のお金が足りない...

現役時代に保険料を納め、老後は老齢基礎年金(国民年金)や老齢厚生年金を受け取って暮らすのが一般的です。ただし、公的年金だけでは生活費が不足する場合もあり、老後資金の準備も必要です。



Key Point

キーポイント

● さまざまなリスクに対しては、公的保障に加えて私的保障も準備するのが安心